



感動を観衆とつくる喜び ピアッツァ 広場は、私の劇場です。

コミュニケーションの話題を中心に、
いろいろとお話しを伺いました。

ファレル・クリアリー

ニュージーランド国カイコウラ生まれ、国立オークランド大学卒、
1974年-1983年、イギリス、スペイン、イタリアで英語教師。
その間、劇団員として、演劇活動。スペインにて、
パントマイムとコメディ・テ・アルテ(芸術喜劇)を国立劇場で学ぶ。
1984年-ニュージーランドで、
シェイクスピアからストリートシアターの演劇活動をし、
俳優組合のオークランド支部長を勤める。
1986年 4月、渡日、熊本へ。
現在、尚絅大学英语非常勤講師。

国際結婚で結ばれた素敵なアーティスト夫婦が、
熊本市新大江に住んでいらっしゃいます。
ニュージーランド生まれ、英語教師の傍ら、
俳優として、パフォーマンス活動をされる
ファレル・クリアリーさん。

熊本生まれ、イタリア留学後、世界のオペラの檜舞台に立つ
声楽家高橋侑子さんご夫妻です。

海外経験豊富なこのお二人に、楽しく、また難しくもある

ファレル・クリアリー

ニュージーランドから熊本へ来て、一年半くらい。
その前は、英国とスペインで、演劇と英語教育をやっ
てました。熊本は侑子の故郷ですが、適当に都会で
自然も多いから住み良いですね。自転車で回るにも、
走り易い道路が多いし…。ちょっと寂しいのは、
ヨーロッパの都市と違って、街の中心部に広場が
ないことかな。私のやるパフォーマンスは、パン
トマイムや楽器、時には言葉を混ぜて、その
時その場所だけのドラマを、集まって来た普
通の人々と創っていくのですが、広場の自
由な空気が合うのです。コミュニケーション…、
そう、自分の経験を他の人たちと直に分
かち合い、感動をともにする喜びと言っ
たら良いでしょうか。
熊本はこうした広場に当たるものが
少ないので、パフォーマンスは
やらないです。



今後の可能性としては
あります。たとえば、
花見の席とか、風上
げ大会、螢狩りの
時などに、やるの

文化の違いに出会う たびに、日本人である ことを見つめ直します。

高橋侑子

イタリアに行くまでは、熊本にしか住んだことなか
ったのですが、外国に住んで働いて、色々と文化の違
いに驚かされる反面、日本人であることを見つめ直す
ことも多かったですね。日本人は、はっきり自分の意
見を表現することが苦手ですよ。でも、外国ではイエ
ス・ノーをきちんと言わないと、わ
かり合えない。思ったことは言う
のが、良いことなんです。言わな
くても感じてくれるだろう、理解
してくれるだろう方式では、ダメ
なんです。夫婦でも、ちょっと腹
を立てたりするこ
とがあったりして、
怒っていることが
言えないと、そのまま…。
最近、ファレルは後で気付くようになりま
したけど。(笑)コミュニケーションは、言葉
がすべてですね。



高橋侑子

熊本県立第一高等学校卒業。
熊本大学教育学部 音楽科卒業。
元尚絅短期大学講師。
元アカデミー音楽専門学校講師。
1981年 国際ロータリー財団奨学生としてイタリアに留学。
1984年 ニュージーランドへ渡る。
各地でコンサート出演。
歌劇「リゴレット」でオペラデビュー。以後、ニュージーランド、
オーストラリアで、声楽家として活躍。
1986年 4月、帰国、リサイクルを開く。